

へんさん 東京大学史料編纂所との連携による 都城島津家史料のデジタル化

これまで、市では、都城島津家に関する共同研究を進めるなど、東京大学史料編纂所との交流を深めてきました。昨年7月には、歴史史料のデジタル化およびその活用公開について覚書を締結。両者の連携した取り組みにより、史料の画像を簡単に検索して利用することが可能になりました。

今回は、取り組みの背景や内容などを紹介します。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

東京大学史料編纂所と連携する背景は？

東京大学史料編纂所は「武家文書の白眉」といわれる国宝島津家文書を所蔵していて、島津氏に関する史料の収集・研究を行っています。

家臣の中でも最大の石高を有した都城島津家に伝来した史料は、中世から近世・近代までの島津家全体を解明する上で貴重なもので、同所も注目してきま

した。同所と市の連携により、南九州における地域史研究の発展に大きく寄与することが期待できます。



東京大学史料編纂所所長
本郷 恵子 教授／博士

「歴史を大切にしてきた都城市と連携できることをとてもうれしく思っています。古文書の画像を通じて歴史に直接触れる機会を、ぜひ、活用してください。」

これまでの取り組みは？

市では平成26年度以降、同所が所蔵する島津家文書を借用し特別展を開催するなど、その歴史的価値を紹介してきました。一方、同所は史料の調査を平成29年度以降毎年実施。令和元年には、同所製作の島津家文書レプリカが市に寄贈され、市民向けワークショップを開催しました。

史料のデジタル化とは？

同所が撮影した市が所蔵する都城島津家の古文書や古記録、古絵図の高精細撮影画像データを、同所のデータベースで公開します。現在約1万1千コマの画像があり、順次公開されます。（一部公開済み）

今後、都城島津家に関する史料が、いつでもどこでも閲覧できるようにになります。



都城島津邸HP

本市に残る史料の価値が市内外で一層高まります

研究者から歴史に興味のある一般の人まで、幅広く利用されている東京大学史料編纂所のデータベース。そこで公開される都城島津家史料のデジタルデータは、多くの人に活用していただけると考えています。さらに、連携したこの取り組みにより、

本市に残る史料の価値は一層高まるものと考えています。加えて、歴史史料の大切さや、都城島津家史料が本地域にとって貴重な歴史遺産であることを、改めて多くの人に知っていただけるものと期待しています。



都城島津邸
米澤 英昭 主幹